

経営学部 菊池悠斗



今回、僕がハンガリー研修に参加した動機として、異文化理解と積極性の向上がありました。

一つ目に異文化理解をすることで多様化する世の中への適応力を得ることができると考えたからです。

日本でずっと過ごしていることも悪いことではありません。しかし外国人観光客の来日や企業のグローバル化に伴い異なる文化を持った方々とコミュニケーションをとることが多くなるが予測されます。

その際に、自分の価値観や考えを押し付けることはやってはいけないことだと思います。異文化を学び、許容し、お互いに良い関係を築いていくことが大切だと考えています。そのため第一歩として、異文化理解を学ぶ良い機会だと思いハンガリー研修への参加を決めました。

二つ目に積極性の向上があります。

「今の社会には何事にもチャレンジできる人材が必要だ」これは僕が大学の講義でも、企業説明会でもよく耳にする言葉でした。

この言葉は僕に足りていない多くのうちの一つだと思いました。

中学生から高校卒業まで僕は失敗を恐れず何事にもチャレンジしているという自負がありました。

しかしながらそれは大学に入学し覆されました。サークルの先輩方のメンバーのまとめ方やJISTリーダーやサブリーダーの方々と先生方との連携など高校とは比べものにならない規模の団体をまとめる能力や積極性、決定能力を間近で学んだ結果自分はまだまだ挑戦できていないということを痛感させられました。

そこから自己成長できる場を積極的に探し行動してきました。その一つが今回のハンガリー研修でした。



僕が今回の研修で学んだ一番大きなことは、ハンガリーで生活している方々は自分のやりたいことを優先して行動しているということです。

これはオーストラリアに留学した際も感じたことですが、日本人は仕事のために仕事をしていることが原因で、休日でも自分のやりたいことをできている人は少ないと感じます。

しかし外国の方は自分の私生活の充実のために仕事をし、仕事が終わるとプライベートの時間を楽しむ生活を送っている方が多いなと感じました。

そのような過ごし方は僕にとってあこがれの生き方です。

この経験から日本でも私生活を充実させるために大学やアルバイトを頑張ろうという決意が固まりました。

今後も自己成長できる機会を逃さず積極的に行動し、今回のハンガリー研修で学んだことを忘れずに生きていきたいと思います。

